

公表:令和2年 2月 14日

事業所名 ドリーム手稲

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			人数や年齢に応じて活動内容やスペースに配慮している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児の特性に応じて役割分担をして配置している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			障がいの特性に応じて、視覚化したり、フロア内を仕切るなど環境整備に配慮している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			室内清掃、おもちゃの消毒をこまめに行い、空気清浄機を設置し、児が快適に過ごせるようにしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			スタッフ間での振り返りをその日に行い、次の目標設定を実施している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			定期的にアンケートを行い、集計結果をもとに意見や要望を把握し活かすように努めている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			定期的なアンケートを実施し、集計して配布している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		今後、第三者評価を行うための準備をすすめている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			偏りがないように内外の研修に全員が参加している。	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			面談時に情報共有し、年代別のアセスメントシートを用いてその後の計画に反映させている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			年代別のアセスメントシートを使用している。半年に一度の見直しを行っている。	

支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			それぞれの項目に合わせて各連携機関への訪問や、定期的な電話連絡での情報共有に努めている。家族支援においては送迎時や面談時に児の様子を聞き情報交換を行っている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画に基づくように支援や記録記入時も参照している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当を決め週案を作成しスタッフ間で意見を出し合いながら行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			年間の療育プログラムに沿って設定し、活動に偏りがないようにしている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			アセスメントシートや会議録を使用し、スタッフ全体で児の特性を把握するように努めている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝の送迎が始まる前に週案を確認し役割分担や動きについて話し合っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			朝の申し送り時や、送迎後に療育を振り返り、良かった点や気付いた点を話し合い、次の支援へと繋げている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録以外にも、保護者からの連絡事項などを日誌に記録するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度、また必要に応じて支援計画の作成、見直しを行っている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて出席している。また文書の提出を行うこともある。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保健センター、区、児相などと連携をとって児に関する情報共有に努めている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					該当児なし。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					該当児なし。

係機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			サポートファイルを使用し、就園先に提出するなど児に関する連携を図っている。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			情報提供として、就学先に文書を提出し児に関する連携を図っている。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修には必ず出席し、後日全体へ報告する場を設けている。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			系列の保育園と積極的に交流を行っている。	
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			定期的に参加している。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時、面談時において保護者との情報交換を行っている。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			保護者の困り感や育児負担の軽減に繋がるように必要に応じて助言などを行っているが、今後は更に力を入れて実施していきたい。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に必ず説明している。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			支援計画作成時に面談を行い、児の現在の様子や今後の支援に向けて保護者と情報交換を行い了承を得ている。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			6ヶ月毎の面談以外にも電話などで保護者からの相談に応じるようにしている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			親の会やメンターさんの協力のもと保護者勉強会や茶話会を実施している。	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者からの申し入れ時にはできるだけ迅速に対応し具体的に案を出し説明・了承を得るようにしている。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログや事業所通信など定期的に発信している。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の文書などの取り扱いには十分に注意している。	

	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			児の思いを受容・共感し寄り添いながら適切な支援に努めている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		地域に開かれた事業所として見学や訪問などを受け入れている。今後も日々の活動に参加してもらえるような機会を作っていきたい。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルを作成し、対応の方法を周知するために訓練を行っている。	保護者向け通信等で、各マニュアルの内容をお知らせできるようにする。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に一度想定される災害において、避難訓練を行っている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に必ず説明している。必ず細やかな成育歴を聞き取りし、その後発生した場合は報告してもらうようにしている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			契約時に必ず確認している。全体で周知するとともに、その後発生したものに関しては報告してもらうようにしている。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例を会社の全体ミーティングで報告し、事業所間で共有し再発防止に努めている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会が中心となり定期的に研修を実施し、虐待防止の認識を高めるように努めている。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			現在まで、拘束を必要とする場面がない。拘束しない対応方法を常に検討している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。